

小泉八雲が愛したまち焼津



焼津 小泉八雲ゆかりの地マップ



YAIIDZU YAKUMO MAP

焼津の
八雲ゆかりの地
解説付き！



観光協会から最新情報を発信中！



焼津市観光協会ではホームページやSNSで焼津の観光やグルメのお役立ち情報をお届けしています！ぜひフォローして最新情報をチェックしてください。



【HP】 <https://www.yaizu.gr.jp> 【Instagram】@yaizu_kankou

焼津ならではの土産がたくさん！

焼津市観光協会・市内の店舗では焼津ならではの土産がたくさん！八雲グッズも続々登場中！ぜひ焼津の思い出とともに土産にしてください。



小泉八雲ゆかりの焼津土産・
グルメはこちらから▶



【URL】 <https://www.yaizu.gr.jp/yakumo/gourmet>

焼津に来たらやっぱりおさかな！

焼津の新鮮な海の幸を使った海鮮グルメを
召しあがれ！



焼津港でとれたおさかなは新鮮さ抜群！
焼津市自慢のカツオやマグロはもちろん、
市内にはおいしいグルメやスイーツがたくさん！



焼津市を満喫できるグルメ情報
目白押し！店舗一覧はこちら▶



【URL】 <https://www.yaizu.gr.jp/spot/eat>

〒425-0027 静岡県焼津市栄町一丁目2番14号
(JR焼津駅南口から徒歩1分)

【TEL】054-626-6266
【FAX】054-626-6267

一般社団法人

焼津市観光協会

「耳なし芳一」や「雪女」などで知られる“明治の文豪”小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）。
避暑地として、焼津をこよなく愛し、晩年六度の夏を過ごしました。

小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）1850-1904



晩年の小泉八雲（焼津小泉八雲記念館提供）

小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）は、1850年6月27日、ギリシア、レフカダ島で、アイルランド人の父とギリシア人の母との間に生まれ、幼少期はアイルランドで過ごしました。19才で単身アメリカに渡り、同地で20年間ジャーナリストとして活躍しました。

1890年にルポライターとして来日。来日後は英語、英文学講師として松江、熊本、東京などで教鞭をとる傍ら、日本に関する13冊に及ぶ著作を発表しました。この間、1896年には松江の土族の娘・小泉セツと正式に結婚し、日本に帰化して「小泉八雲」となりました。

八雲は、日本の民話や古典の中の怪談を、セツの語りを通して味わい、そこに自身の西洋的な文学アイディアを交えながら多くの怪談作品を手がけました。

1904年9月26日に心臓発作のため54歳の生涯を閉じました。

小泉八雲と焼津

小泉八雲は焼津の地を避暑地として気に入り、1897年から1904年までの晩年、6回の夏を過ごし、焼津にまつわる作品も数多く残しています。八雲が初めて焼津を訪れたのは、1897年8月4日でした。水泳が得意だった八雲は、焼津の深くて荒い海が気に入り、以後、浜通りの魚屋・山口乙吉の家の2階を借り、亡くなるまでほとんどの夏を焼津で過ごしました。



八雲が描いた焼津海岸の絵（焼津小泉八雲記念館提供）

2 焼津小泉八雲記念館

焼津と八雲のかかわりを伝える記念館。セツへの手紙など八雲ゆかりの品を展示。



【入館料】無料 【電話番号】054-620-0022
【開館時間】9:00～17:00
【休館日】月曜日（祝日の場合は翌平日）、
年末年始、展示替期間
焼津駅より徒歩約20分、車で約5分

焼津 小泉八雲ゆかりの地マップ

まずはここから！

1 焼津市観光協会

焼津駅南口を出てすぐ。青い看板が目印。
観光案内・レンタサイクルならおまかせあれ！

【休業日】年末年始【営業時間】8:45～17:00

焼津駅南口には小泉八雲像の碑があるよ。
「焼津にて」の一節を
読んで旅を始めよう。



お腹がすいたらここ！

15 焼津さかなセンター

専門店約50店舗が集合！
八雲にちなんだメニューも！
焼津駅より車で約7分



3 焼津神社

八雲は毎年8月12、13日の大祭「荒祭」の神輿渡御などを大変楽しみにしていました。



4 光心寺 浪除け地蔵



八雲は首が取れた地蔵を不憫に思い、地蔵に新しい顔をつけたいと妻セツに手紙を書きますが縁起が悪いと反対され断念します。

八雲が見つけた古い地蔵はその後、取れた首をつけ、移転した現在の光心寺に祀られています。

八雲は焼津で見たり
聞いたりしたことをもとに
作品を残しました。



Y A I D Z U Y A K U M O M A P

※焼津の一般的な英語表記は「YAIZU」ですが、小泉八雲氏は「Y A I D Z U」としています。

8 浜当目海岸

八雲が時折遊びに来た海岸。近くにはうなぎ料理専門店があり、店に一日滞在しながら水泳を楽しむこともあったといいます。

9 小泉八雲諷詠の地碑

1925年、当時の焼津青年団が町役場前の旧東小学校玄関脇に建てたもので、その後、1984年に現在の場所に移りました。

10 浜通り（八雲通り）

八雲が逗留した場所。八雲にちなみ「八雲通り」とも呼ばれています。

11 小泉八雲滞在の家跡碑

八雲が夏の間滞在した魚屋・山口乙吉の家の跡。純粋で開けっ広げで正直者、そんな焼津の気質を象徴するような乙吉を八雲は「神様のような人」と語っていました。当時の家屋は1968年9月に明治村に移築されました。



5 教念寺

八雲は乙吉と教念寺を訪れ、池の鯉や大松を眺めて「大変いい景色」と何度もほめました。



6 熊野神社

八雲と息子一雄が乙吉、書生と訪れた際、乙吉と書生が昼でも暗い社の裏で、地面が火のように熱くなる体験をしました。八雲と一雄は何ともありませんでした。



7 海蔵寺

八雲が焼津で取材した実話をもとに記した作品「漂流」に登場するお寺。荒れ狂う海で一枚の板子にしがみつき命を拾った主人公、天野甚助は、板子を海蔵寺に奉納しました。

（現在、板子は焼津小泉八雲記念館にて展示）



12 新浪除け地蔵

八雲が修復を願った首の取れた地蔵の代わりに地元の人々により、新しく作られた地蔵です。



13 和田浜海岸

八雲は新屋の海が荒れていると遊の静かな和田浜まで出かけて水泳をしました。また和田浜に着いて、茶店「小川屋」でラムネを飲むことが焼津での楽しみでした。



便利なマップを
スマホでも！

八雲ゆかりの地に加え、八雲にちなんだお土産やグルメを楽しむお店がチェックできるマップです。

マップは
こちらから



※読み取ると
Googleマップ
が開きます

14 ディスカバリーパーク 焼津天文科学館

八雲が泳いだ海岸のそばの科学館。プラネタリウムや科学展示等が楽しめます。
焼津駅より車で約25分